

2026年度 町田市立成瀬中央小学校 学校経営計画・学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

令和8年3月31日

<p>学校教育目標 からだをきたえ やりぬき子ども よく考え すずんで行う子ども ○なかく 助け合う子ども</p> <p>○目指す学校像……地域とともに学び続ける学校 ○目指す児童・生徒像……笑顔で登校 満足で下校する子ども ○目指す教師像……子どもを真ん中にし、協働して取り組む教師</p>	<p>学校経営の重点 健やかな体づくり 対話的な学びの実現 挨拶 ルールを守る・創る とともにすむ「(すたあと・START)」し続ける力の育成</p> <p>重点目標の成果と課題</p>
--	---

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価	評価				
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した学びを推進する教育課程を実施する。	地域の環境及び人材を生かした体験的活動を企画し、実施する。	ゲストティーチャーや地域ボランティアを積極的に活用する。 コミュニティスクールを通じて、本校の教育活動を周知し、意見交換を行う。	4 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の80%以上を実施			A 学校評価アンケートA「地域連携教育活動」肯定的評価 80%以上										
				3 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の80%以上を実施			B 学校評価アンケートA「地域連携教育活動」肯定的評価 70%以上										
				2 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の70%以上を実施			C 学校評価アンケートA「地域連携教育活動」肯定的評価 55%以上										
				1 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の実施が70%未満			D 学校評価アンケートA「地域連携教育活動」肯定的評価 55%未満										
				4 必要情報の80%以上を周知・意見交換			A 学校評価アンケートA「地域との一体化」肯定的評価 80%以上										
				3 必要情報の80%以上を周知・意見交換			B 学校評価アンケートA「地域との一体化」肯定的評価 70%以上										
				2 必要情報の70%以上を周知・意見交換			C 学校評価アンケートA「地域との一体化」肯定的評価 55%以上										
				1 必要情報の70%未満を周知・意見交換			D 学校評価アンケートA「地域との一体化」肯定的評価 55%未満										
				4 週4以上の更新			A 学校評価アンケートA「情報発信」肯定的評価 80%以上										
				3 週3以上の更新			B 学校評価アンケートA「情報発信」肯定的評価 70%以上										
2 週2以上の更新			C 学校評価アンケートA「情報発信」肯定的評価 55%以上														
1 週1以上の更新			D 学校評価アンケートA「情報発信」肯定的評価 55%未満														
教員の働き方改革を推進する。	毎週1/1会談テーマを設定し、業務に集中して取り組みたい。年次給付額を確保したり、やりがい意識を高める。(毎週火曜日とする)	4 90%以上のクラスで実践して公開に努めた					A 学校評価アンケートA「教育活動公開」肯定的評価 80%以上										
		3 80%以上のクラスで実践して公開に努めた					B 学校評価アンケートA「教育活動公開」肯定的評価 70%以上										
		2 70%以上のクラスで実践して公開に努めた															
		1 公開に努めたクラスが70%未満だった															
		4 定時退勤日を月に4日以上設定(年48日以上設定)						A 設定した定時退勤日の達成割合が80%以上									
		3 定時退勤日を月に3日以上設定(年36日以上設定)						B 設定した定時退勤日の達成割合が70%以上									
		2 定時退勤日を月に2日以上設定(年24日以上設定)						C 設定した定時退勤日の達成割合が70%未満									
		1 定時退勤日を設定しなかった(年24日未満設定)						D 設定した定時退勤日の達成割合が70%未満									
		1/1会談テーマを平均週2日以上設定						A 1人当たりの月平均時間外在校等時間以下の割合 90%以上									
		2/1会談テーマを平均週1日以上設定						B 1人当たりの月平均時間外在校等時間以下の割合 80%以上									
1/1会談テーマの設定が平均週1日未満						C 1人当たりの月平均時間外在校等時間以下の割合 70%以上											
確かな心身の育成	子どもが主体的に学ぶ授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現することで、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。	授業をデザインする8つの取組を踏まえ、子どもが「分かる」できる 楽しい授業」を展開する。 自分の考えを多様な方法で表現させ、協働学習(アクティブラーニング)を導入する。	4 90%以上の授業で実践して推進した				A 学校評価アンケートI「基礎基本習得」肯定的評価 80%以上										
			3 70%以上の授業で実践して推進した				B 学校評価アンケートI「基礎基本習得」肯定的評価 70%以上										
			2 70%未満の授業で実践して推進した														
			1 70%未満の授業で実践して推進した														
			4 90%以上の授業で実践						A 児童・生徒アンケートで80%以上が自分の考えを表現し、学び合っている								
			3 80%以上の授業で実践						B 児童・生徒アンケートで70%以上が自分の考えを表現し、学び合っている								
			2 70%以上の授業で実践						C 児童・生徒アンケートで55%以上が自分の考えを表現し、学び合っている								
			1 70%未満の授業で実践						D 児童・生徒アンケートで55%未満が自分の考えを表現し、学び合っている								
			4 90%以上の指導場面で実施						A 学校評価アンケートI2「3/4学年以上が主体的に学ぶ」肯定的評価 80%以上								
			3 80%以上の指導場面で実施						B 学校評価アンケートI2「3/4学年以上が主体的に学ぶ」肯定的評価 70%以上								
2 70%以上の指導場面で実施						C 学校評価アンケートI2「3/4学年以上が主体的に学ぶ」肯定的評価 55%以上											
1 70%未満の指導場面で実施						D 学校評価アンケートI2「3/4学年以上が主体的に学ぶ」肯定的評価 55%未満											
豊かな心身の育成	自分の考えを伝え、他人の考えを理解するとともに、多様性を尊重し、自分と他人者と大切にする意識・意欲・態度を育てる。	生命を大切にする心や他人を思いやる心、規範意識等を育む。 子どもの主体的な活動を重視する。委員会、クラブ、ちゅうおうタイム、実行委員会、係活動などを実施する。	4 90%以上の授業で実践して推進した				A 児童・生徒アンケートで80%以上が肯定的な回答										
			3 80%以上の授業で実践して推進した					B 児童・生徒アンケートで70%以上が肯定的な回答									
			2 70%以上の授業で実践して推進した														
			1 70%未満の授業で実践して推進した														
			4 いじめ防止の授業を月に1回以上指導実施						A 学校評価アンケートW「いじめ・体罰防止」肯定的評価 80%以上								
			3 いじめ防止の授業を学期に2回以上指導実施						B 学校評価アンケートW「いじめ・体罰防止」肯定的評価 70%以上								
			2 いじめ防止の授業を学期に1回以上指導実施						C 学校評価アンケートW「いじめ・体罰防止」肯定的評価 55%以上								
			1 いじめ防止の授業を学期に1回以上指導実施						D 学校評価アンケートW「いじめ・体罰防止」肯定的評価 55%未満								
			4 90%以上の道徳授業で指導実施						A 学校評価アンケートW「2/3」規範意識や挨拶」肯定的評価 80%以上								
			3 80%以上の道徳授業で指導実施						B 学校評価アンケートW「2/3」規範意識や挨拶」肯定的評価 70%以上								
2 70%以上の道徳授業で指導実施																	
1 81%未満の道徳授業で指導実施																	
健全な心身の育成	生涯を通じて健やかに過ごすための運動習慣・正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましく心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実させる。	体力テストの結果分析を生かした体育科の授業時における持久走、マッスルゲーム、体力向上旬間を実施し、運動の日常化を行う。 家庭と連携した健康教育と給食食材の活用も体験やバジェット活用による教育を推進する。 全体計画を基に、避難訓練を計画的に実施し、いざというときに慌てず、即座に、適切な避難行動をとることができる力を育てる。 安全教育の全体計画を基に3領域をバランスよく推進し、子どもたちが自身の安全を守るとともに他者や社会の安全に貢献できる力を育てる。	4 90%以上の授業で実施				A 学校評価アンケートE「1」走んで運動」肯定的評価 80%以上										
			3 80%以上の授業で実施					B 学校評価アンケートE「1」走んで運動」肯定的評価 70%以上									
			2 70%以上の授業で実施														
			1 70%未満の授業で実施														
			4 90%以上の指導場面で実施						A 学校評価アンケートE「2」食習慣・生活習慣」肯定的評価 80%以上								
			3 80%以上の指導場面で実施						B 学校評価アンケートE「2」食習慣・生活習慣」肯定的評価 70%以上								
			2 70%以上の指導場面で実施						C 学校評価アンケートE「2」食習慣・生活習慣」肯定的評価 55%以上								
			1 70%未満の指導場面で実施						D 学校評価アンケートE「2」食習慣・生活習慣」肯定的評価 55%未満								
			4 90%以上の指導場面で実施						A 児童・生徒アンケートで、肯定的評価 80%以上								
			3 80%以上の指導場面で実施						B 児童・生徒アンケートで、肯定的評価 70%以上								
2 70%以上の指導場面で実施																	
1 70%未満の指導場面で実施																	
その他			4 90%以上の指導場面で実施				A 児童・生徒アンケートで、肯定的評価 80%以上										
			3 80%以上の指導場面で実施														
			2 70%以上の指導場面で実施														
			1 70%未満の指導場面で実施														
			4 90%以上の指導場面で実施						A 児童・生徒アンケートで、肯定的評価 80%以上								
			3 80%以上の指導場面で実施						B 児童・生徒アンケートで、肯定的評価 70%以上								
			2 70%以上の指導場面で実施														
			1 70%未満の指導場面で実施														
			4 90%以上の指導場面で実施						A 児童・生徒アンケートで、肯定的評価 80%以上								
			3 80%以上の指導場面で実施														
2 70%以上の指導場面で実施																	
1 70%未満の指導場面で実施																	

成果指標平均 80%以上⇒評価A
成果指標平均 70%以上⇒評価B
成果指標平均 55%以上⇒評価C
成果指標平均 55%未満⇒評価D

取組指標の評価基準例(結果数値からABCD評価へ)
取組指標平均 3.5以上 ⇒ 評価A
取組指標平均 3以上3.5未満 ⇒ 評価B
取組指標平均 2以上3未満 ⇒ 評価C
取組指標平均 2未満 ⇒ 評価D

学校関係者評価の評価基準例
A⇒ 取組・成果ともに十分評価できる
B⇒ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい
C⇒ 目標達成には至らなかったため、次年度の改善が必要
D⇒ 重大課題にはあるため、次年度、重点的に改善
※ 学校からの十分な説明をもとに、学校運営協議会で成果と課題、改善点について協議する。